



代表理事組合長
白井 良始

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様には夢

多き初春を迎えたことと存じます。常日頃は農協事業に格別なご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

昨年は8月に改正農協法が成立しました。農業所得増大が最重要課題となり、農協の自己改革と合わせ大きな課題を負わされました。また農協の理事構成、員外規制等、多くの課題も政省令で示されています。今後5年後の評価が問われることとなります。

また10月5日にはJAグループ、関係団体で反対運動を展開してき

たTPPの大筋合意がなされました。10月9日には安倍総理を本部長とするTPP総合対策本部が設置されました。即時関税撤廃品目、段階的削減品目を含め、特に大きな影響を受けると予想される畜産についての政府の対

化と併せ世界の大きな問題となっています。昨年12月に京都議定書以来の調停合意がなされましたが先進国の協力が不可欠であります。日本の安全、安心は政治、経済の安定の上にあります。夏には参議院選挙がありますが政権運営にはより一層注視していかなければなりません。

をめぐりトップセールスもしてまいります。畜産では価格面では恵まれましたが子牛、飼料価格の高止まりで厳しい経営を強いられています。信用では金利競争により運用利ざやの縮小が顕著になっていきます。農協は原点である協同の力によって総合事業を組合員、利用者、地域とともに運営してまいります。不採算部門であってもギリギリまで負託に応えてまいりました。大型投資が続く中、本年度も事業計画達成に向け役員一丸となって取り組んでまいります。第4次中期計画最終年でありま

今こそ協同の力を試される時代

策、ならびに財源確保が注目される所であります。

世界に目を向けますと多くの地域で紛争が続き悲惨な報道が流れています。テロ攻撃も世界各地で起っています。日本の平和が永く続くことを願うものであります。また環境汚染も中国、インドをはじめとする新興国においては日本が経験した以上の状況です。温暖

稲育苗施設が新施設において本年より稼働します。大玉トマト選果場も順調な運営がなされています。春夏作については、まずまずの価格で販売され上半期では過去最高に近い販売金額となりましたが秋冬作においては植付時、心配された生育も11月12月の暖かさにより前進出荷となり安値基調で年末を迎えました。年明け後の価格回復

すが検証し、第5次中期計画作成に反映してまいります。今後とも組合員、役員先輩の皆様には建設的なご意見とご指導をお願い申し上げます。

最後に組合員、利用者の皆様、そしてご家族にとりまして、今年が健康で幸多き一年であります様、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。